

コラム

編集・発行：金浦区自治会

発行日：2022. 3. 1

金浦自然との共生シリーズ⑭

文責：波多野 哲哉



5月中旬から7月初めのおもに梅雨時期に、林や森の中で美しい小さなチョウが発生します。この小さなチョウはシジミチョウ科ミドリシジミ族で、この一群を统称「ゼフィルス」（西風の妖精＝ギリシャ神話の西風の神：ゼピュロス）とよびます。ゼピュロスといえば、ルネッサンス期の著名な画家ボッティチェリの「ヴィーナスの誕生」の左からふ〜っと風をを吹きかけている男性神が有名です。また英語ではゼファー、スペイン語ではセフィーロで、車好きな方には日産セフィーロ（1988～2003）が思い出されるかもしれませんね。語源が一緒で各言語によって発音がちがうのは（当然ですが）ならべてみるとけっこう面白いですね。

さて、妖精に例えられるほど可憐できらびやかなチョウは、樹上性のため、めったに人目に触れないのですが、昆虫ファンにとってはあこがれのチョウです。人気の理由はなんといってもそのキンキラキンの色彩。実はこの金属光沢のメカニズムも前出の「構造色」です。そして更に、チョウ類の翅（はね）は、うろこ状の鱗粉におおわれていて、なおかつ微妙な凹凸があるため、光の当たり具合によってもずいぶんと色が変わるのですね。金属色の標本を見るときはいろんな角度から見てみましょう！